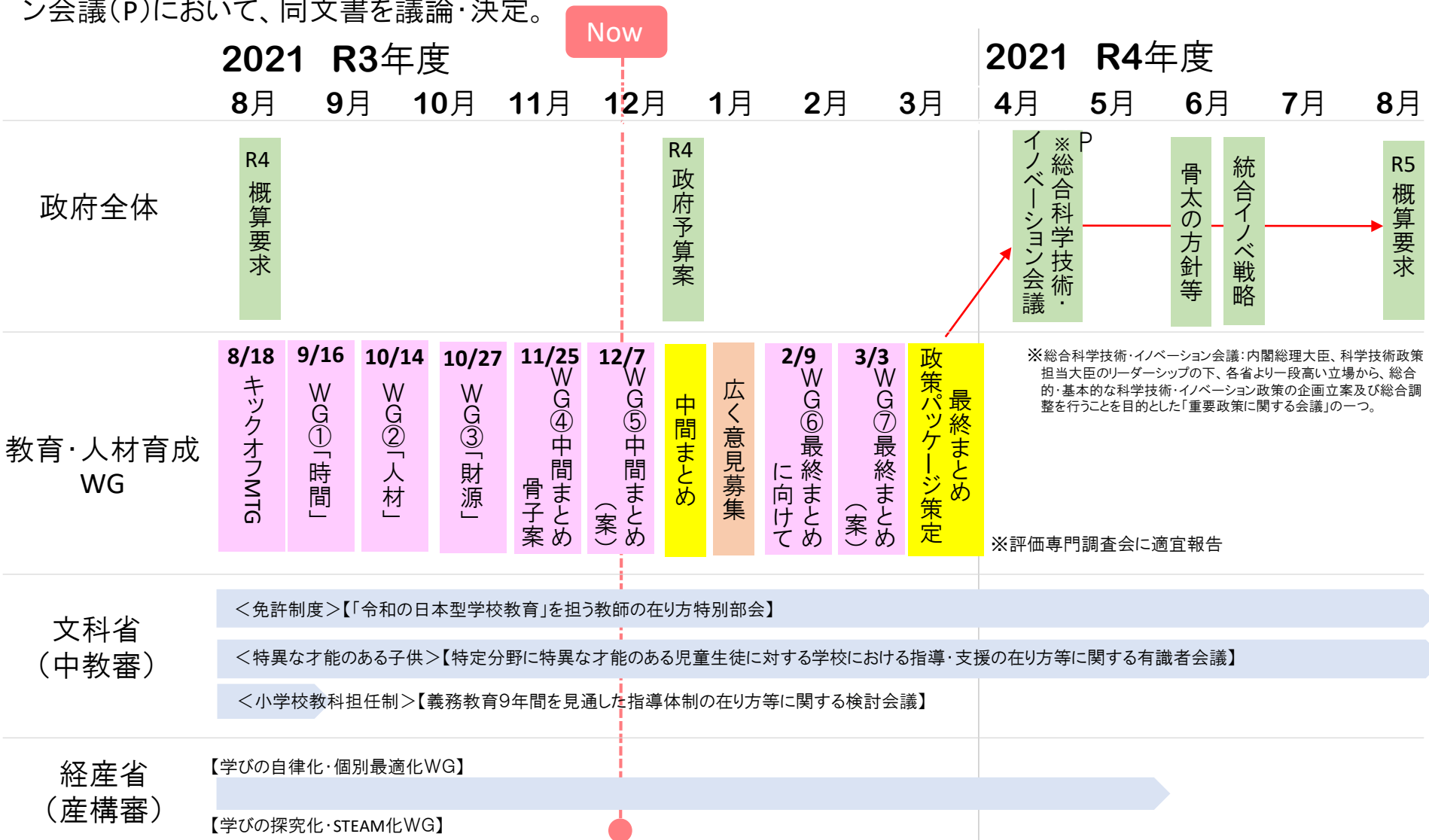


本WGの今後の流れについて（予定）

【資料1】
総合科学技術・イノベーション会議
教育・人材育成ワーキング・グループ(第5回)
2021/12/7

本日の議論を踏まえ、年内に中間まとめ(政策パッケージの枠組み、目指すべきイメージの共有)を行い、国民から広く意見募集を行った上で、最終まとめ・政策パッケージ策定に向けて、各政策の目指すイメージ、必要な施策・ロードマップについて議論を深め、年度内に最終まとめ・政策パッケージ策定。その後、総合科学技術・イノベーション会議(P)において、同文書を議論・決定。





前回11/25の議論を踏まえ修正した箇所

【論点1】

前回の議論を踏まえた修正

前回の議論を踏まえた修正箇所について適切かどうか。

【論点2】

3本の政策の目指すイメージ

① 「政策1：子供の特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化」の目指すイメージについて

② 「政策2：探究・STEAM教育を社会全体で支えるエコシステムの確立」の目指すイメージについて

③ 「政策3：文理分断からの脱却、理数系の学びに関するジェンダーギャップの解消」の目指すイメージについて

それぞれ、年明けに議論する各政策のロードマップの策定を見据え、ベースとなる「イメージ図」について適切かどうか。

0. 政策パッケージの策定方針

1. 社会構造と子供たちを取り巻く環境の変化

- (1) 社会構造の変化・必要となる思考・発想の変化
- (2) デジタル社会における子供たちを取り巻く環境
- (3) 認識すべき教室の中にある多様性や子供目線の重要性
- (4) より人々の身近になるサイエンス
- (5) 価値創造を高める総合知、分野横断的な学び・STEAM教育の必要性
- (6) 文理分断と理数系の学びに関するジェンダーの偏り

2. 教育・人材育成システムの転換の方向性

3. 実現に向けたロードマップ

<政策1> 子供の認知特性を重視した踏まえた学びの「時間」と「空間」の多様化

- ・目指すイメージ
- ・必要な施策・検討の方向性
- ・ロードマップ

年明けに議論

<政策2> 探究・STEAM教育を社会全体で支えるエコシステムの確立

- ・目指すイメージ
- ・必要な施策・検討の方向性
- ・ロードマップ

年明けに議論

<政策3> 文理のアンバランス 文理分断からの脱却・理数系の学びに関するジェンダーギャップの解消

- ・目指すイメージ
- ・必要な施策・検討の方向性
- ・ロードマップ

年明けに議論

- ロードマップの要素(イメージ)
- 課題・ボトルネック
 - 必要な施策
 - 検討の方向性
 - 5か年程度のロードマップ